

第66回全国保健所長会 会長挨拶

と き：平成21年10月20日

ところ：奈良県「奈良ロイヤルホテル」

皆さん、おはようございます。本日は第66回総会を開催いたしましたところ、会員ならびに名誉会員の皆様には全国各地からご参加いただきまして誠にありがとうございます。昨年4月に会長に就任いたしました愛知県半田保健所、澁谷いづみでございます。宜しくお願いたします。

本日はお忙しい中、厚生労働省健康局長 上田博文(うえだひろぞう)様、奈良県副知事 窪田修(くぼたおさむ)様、ならびに奈良県医師会副会長 大澤英一(おおさわえいいち)様にはご臨席を賜り誠にありがとうございます。

また、本日の会長表彰させていただきます会場前列にご着席の皆様には、長年にわたり保健所活動に携わり、公衆衛生の向上に尽力されてこられました。厚く御礼申し上げますと共に今後も保健所の内外からご指導をいただきたく、ご活躍を記念申し上げます。

さて、本年4月、全国510の保健所は、新型インフルエンザ対策に多くの労力と緊張感を持って日々を費やすこととなり、現在も感染の拡大防止、医療機関の調整、重症患者の早期発見、重症化しやすいハイリスク集団への予防活動など、最前線にたって活動を続けております。全国保健所長会は、現場の保健所の状況を、時を逃さず厚生労働省に伝えるべく、要望書、意見書を6月、7月の2度にわたり提出し、8月の理事会では参事官との意見交換をするなど、その対策方針の決定に少なからず関与できたと考えています。

9月にはワクチン接種に関する意見書を提出し、所長のみならず、防疫活動に当たった保健所職員のこととして、その声を役員とともに届けてまいりました。会長として、この半年ほど全国保健所長会の存在の重要性と会員の結束を認識したことはありませんでした。また、厚生労働省健康局地域保健室には、いち早く詳細な新型インフルエンザに関する情報が保健所に届くよう、ご配慮いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

ところで、会長に就任し、1年半を経過しましたが、本年度は会員の皆様のご理解と協力を得て、新潟県のブロック変更もスムーズに実施することができました、また、会長等の選出について、代議員から直接立候補もできるよう手順を整備いたしました。

さらに、暗い出来事の多い中、理事から提案のあった明るく親しみやすい全国保健所長会のシンボルマークも作成され、歴史あるこの会の結束と発展を願ってホームページに掲載をいたし、順次その活用を広げているところです。創作していただきましたデザイナーの本多様には、本日午後この会場にて感謝状を贈呈することとしております。

このように、理事会を中心に、今後も機会あるごとに会の活動の基盤を整えてまいりたいと思います。

一方、「地域保健の充実強化」と「健康危機管理」2つの委員会は、「地域保健対策の推

進に関する基本的な指針の見直し」の提言をおこない。また保健医療科学院のH-CRISIS(エイチ・クライシス)を活用した健康危機に関する保健所の事例の収集と評価を開始しました。さらに精神障害者の地域移行の推進や、地域医療連携の充実、公衆衛生医師確保など様々な研究班活動や研修会とも連携をとりながら活動しております。

会員一人ひとりが会の事業を身近に感じて参画していただけるよう、保健所長だけでなく保健所職員も念頭に置き、保健所活動の進展と相互の連携を図ることで、公衆衛生の向上に寄与することを目指し、本会は活動していかなければならないと考えております。

そのため、昨年この総会の場で提案いたしましたように、私たち全国保健所長会は、その役割として、公衆衛生活動の第一線の現場の実態を国および関係機関に届けること、それぞれの保健所の活動の支援を充実させること、そして保健所長自らの資質向上を図ることが重要と常に考えて行動しております。

一言で保健所といっても、全国的にその組織にも違いは様々現れておりますが、保健所はそれぞれの地域を十分見て活動するという基本の上に、2つの視点、医療政策と健康危機管理という時代の要請に応えられる保健所になっていかなければならないと思います。

この2つの点は、いずれも平坦な政策ではありませんが、全国8ブロックの地域検討会などに会長・副会長が参加させていただき、会員の高い能力を結集すれば、十分地域で成果を発揮できると実感してまいりました。

さらに本年度は、危急の課題として、公衆衛生医師確保をテーマとして加えていただきました。

私たちは、政策の転換がどのように行われるにしろ、住民を見失わない公衆衛生活動を継続していく必要があります。変化の大きなときこそ予測する力、想像力が保健所長というチームリーダーには求められます。次に起こることを予測する、将来への影響を予測する、そして別の可能性を予測することです。これらは精度の高い情報と経験に培われてできることです。会として会員同士がその情報や経験を補いあってこの時期を乗り越えていくことができれば、と考えています。

このような時節に、新たに今年役員・委員などをお引き受けいただいた先生方にはここから感謝申し上げます。また引き続きご活躍いただいている先生方、送り出し活動に協力いただいているそれぞれの自治体、地元所長会にも重ねて御礼申し上げます。最後になりましたが、本年度の総会を準備いただきました奈良県保健所長会の皆様にはご尽力誠にありがとうございました。

どの様に困難な時代にあっても、保健所が住民の期待に応えられるよう、柔軟に、迅速に、実践する保健所を目指し、保健所長がその良心に従って信念を持った活動ができるよう、会長として残りの任期半年となりましたが、全国の保健所職員と力を合わせ公衆衛生の向上を目指していきたいと思っております。どうか会員の皆さんよろしく願いいたします。

御清聴ありがとうございました。